

長横町山車組

参加20年の歴史



参加20周年「新・椿説弓張月」長横町山車組親睦会

平成16年8月1日

長横町山車組親睦会



昭和60年 豊漁満作、恵比須大黒 努力賞



昭和62年 廓獅子 努力賞



昭和61年 新羅神社絵巻 秀作



昭和63年 七福神、出現の場 秀作



平成元年 七福神の山車引き 最優秀賞



平成3年 新・鳴神 努力賞



平成2年 天長地久七福神 (天覧山車)



平成4年 初夢縁起 優秀賞



平成5年 新・二人娘道成寺 優秀賞



平成7年 女七福神 優秀賞



平成6年 新・七ッ面 (10周年) 優秀賞



平成8年 新・娘道成寺 努力賞



平成9年 新・三国志 秀作



平成11年 龍虎伝説 努力賞



平成10年 新・西遊記 秀作



平成12年 新・龍虎伝説



平成13年 猿之助歌舞伎・華果西遊記 優秀賞



平成15年 水滸伝・五竜山幻術合戦 ※審査無し



平成14年 水滸伝



平成16年 新・椿説弓張月 (20周年)

日本一の山車祭り 八戸三社大祭



①平成元年 最優秀賞初受賞



②平成2年 天覧山車製作



③平成15年 デーリー東北掲載

①平成元年 最優秀賞初受賞

山車の構想は3年前より計画しておりその期間内に彫刻とその他を準備し、法霊神社の由来については宮司さんから聞き構想をたて、題名については郷土歴史家正部家種康先生よりつけて頂きました。

制作時に他の山車組の方に山車の上に山車を乗せる馬鹿なことをしているとわれながらも制作した山車であります。またこの時には仲間と大喧嘩も致しました。
〈今井 信明〉

②平成2年 天覧山車製作

平成2年7月、三沢港で全国豊かな海づくり大会が開催される。この時に天皇、皇后両陛下がご参列されるので、八戸の山車を見ていただくために「天覧山車」を製作すると市観光課からの話があった。

前年度最優秀賞、受賞の我が組への依頼であった。
製作スタッフは 題名「天長地久七福神」
命名 正部家種康氏
構想 類家 孝氏

及び、今井信明氏率いる長横町山車組、八戸山車製作研究会の当時最強軍団である。

平成2年八戸三社大祭には特別参加、8月には八戸、苫小牧両市長の話で苫小牧ポートカーニバルにナラサキスタックスの協力で参加、10月には大阪の御堂筋パレードに参加、全国で初のテレビ放映となった。この事が山車本体が八戸から全国に向けて披露する事となった。

この年、故 七尾泰博氏が長横町から天覧山車を譲り受け八戸市に寄贈して今も八戸三社大祭の山車としてユートリーに飾られている。

我が長横町山車組の最高の逸品である。

〈十日市雅一〉

③平成15年 デーリー東北掲載

審査がなかった年、台車の軽量化等で、建物等を壊し、又仕掛けの縮小などで舞台を上げず、引き出しも拵げず、こじんまりとしながらも、中国

ものの集大成のつもりで中国色を多彩に使って仕上げた、制約の多い中で、何とか出来上がった思い出のある山車です。
〈松山 裕之〉



20周年の節目を迎えるにつき、一言お礼申し上げます。
 この日を迎えられたのも、数多くのスタッフをはじめ、
 皆様多くの方々のご尽力のたまものと思っております。
 来年の21年目は、気持ちを新たに、再出発の意気込み
 でがんばりたいと思いますので、重ね重ねの御指導の程
 よろしく願います。最後の頁は当山車組の発足に際
 し、大変な御努力をいただき、今年の一月にお亡くなり
 になりました七尾泰博様の遺影をかざり、結びとさせ
 て頂きます。大変ありがとうございました。

<中居 啓悦>



長横町山車組親睦会 山車題名一覧



昭和60年	豊漁満作、恵比須大黒	努力賞
昭和61年	新羅神社絵巻	秀作
昭和62年	廓獅子	努力賞
昭和63年	七福神、出現の場	秀作
平成元年	七福神の山車引き	最優秀賞
平成2年	天長地久七福神	(天覧山車)
平成3年	新・鳴神	努力賞
平成4年	初夢縁起	優秀賞
平成5年	新・二人娘道成寺	優秀賞
平成6年	新・七ッ面 (10周年)	優秀賞
平成7年	女七福神	優秀賞
平成8年	新・娘道成寺	努力賞
平成9年	新・三国志	秀作
平成10年	新・西遊記	秀作
平成11年	龍虎伝説	努力賞
平成12年	新・龍虎伝説	
平成13年	猿之助歌舞伎・華果西遊記	優秀賞
平成14年	水滸伝	
平成15年	水滸伝・五竜山幻術合戦	※審査無し
平成16年	新・椿説弓張月 (20周年)	